

区分・種別	名勝		
名 称	てんしゃえん 天赦園		
所 在 地	宇和島市天赦公園		
所 有 者	(公財) 宇和島伊達文化保存会	管 理 団 体	
指定年月日	昭和43年5月20日		
解 説	宇和島藩7代藩主伊達宗紀^{むねただ}(号春山)が、江戸時代末期の慶応2(1866)年に完成させたもので、広い池を主体とした全体で4000坪に及ぶ大名庭、池水廻遊式庭園である。池心に小島を置いた池泉は、鬼ヶ城山から流れ出る川を想定した枯川に通じ、園の周囲にはクロマツ、クス、ウバメガシ等の常緑樹を配している。蓬萊島^{ほうらい}の松の緑、春雨亭のスイレン、潜淵館裏^{せんえんかん}の芝生もすばらしいが、梅雨前の上りフジ、下りフジ、梅雨後のハナショウブ等の時期は特に訪れる人が多い。 伊達家の家紋に由来する竹類をはじめ、臥牛石、綱引石、陰陽石その他の布石も見逃せないものである。天赦園の名の由来は、仙台藩初代藩主伊達政宗の漢詩の一部「残軀天所赦^{ざんくてんのゆるすところ}」からきている。		

